

労働の傍らいそしむ文化創造活動

県勤労者美術展



県内から81点の作品が寄せられた第41回県勤労者美術展

第41回県勤労者美術展（県勤労者福祉協議会主催）が、盛岡市盛岡駅西通の市民文化ホール展示ホールで開かれている。県内の勤労者やその家族、OBから寄せられた絵画、写真、書道の81点が一堂に展示されている。27日まで。

今年には絵画26点、写真38点、書道17点の応募があり、県知事賞に梅田節子さん（盛岡市）の「面影」、上野仁志（同）の「静寂破る大」、及川茂輝（盛岡市）の「チャンプ」、書道の木内淳子（江刺）さんの「王嘉謨詩」など入賞27点が決まった。

【写真】▽優秀賞▽森田洋子さん
 【写真】▽優秀賞▽北井崎昇（同）
 【写真】▽佳作▽谷村福美（同）
 【写真】▽佳作▽伊香祥平（同）
 【写真】▽佳作▽松島哲夫（同）
 【写真】▽佳作▽米田義實（同）

同展は、勤労者らの文化創造活動を高め、文化教養の向上を図り、親子の触れ合いや明るい職場環境づくりを目的に開かれている。

入場は無料。午前10時から午後5時。優秀賞以下の盛岡地域の入賞者は次の通り（敬称略）。

【絵画】▽奨励賞▽矢幸一（矢巾町）上澤裕子（盛岡市）高橋光子（同）

2022.11.27(日)
「岩手日日新聞」掲載

絵画や写真光る感性

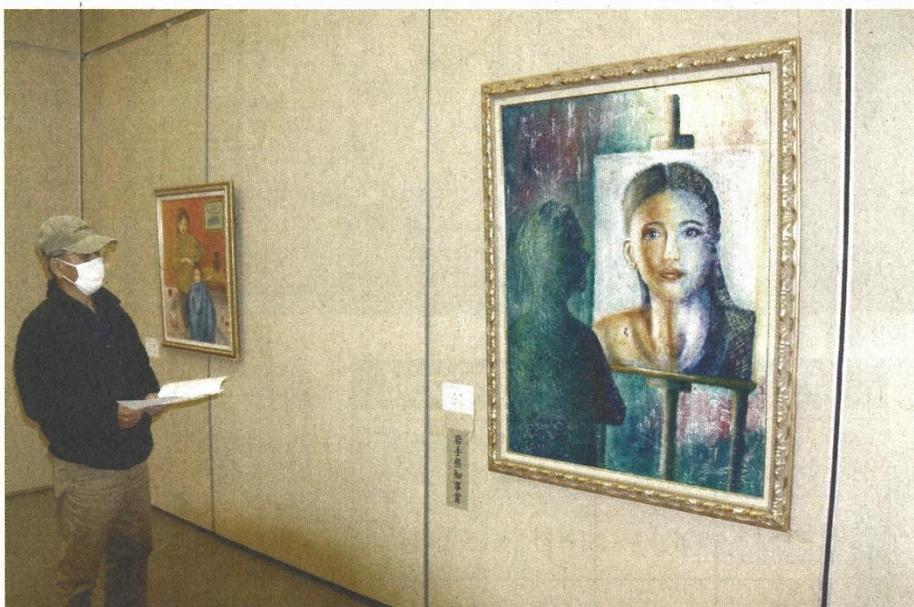
マリオス
きょうまで 県勤労者美術展

県労働者福祉協議会主催の「県勤労者美術展」が、盛岡市の盛岡市民文化ホール・マリオスで27日まで開かれている。絵画や写真、書道合わせて81点が展示され、来場者の目を楽しませている。

同協議会が毎年開催し今年で41回目。県内に勤務す

る人やその家族ら80人から絵画26点、写真38点、書道17点が寄せられ、この3部門で審査を行い最高賞の県知事賞をはじめ優秀賞などの各賞を選んだ。

絵画の部で県知事賞に輝いた梅田節子さん(盛岡市)の作品「面影」は、ややくすんだ黄や緑、紫の背景にキャンバスの人物とそれを見るシルエットで表現された人物を描いている。キャンバスの人物の瞳が何かを語り掛けているようで、「見る側のイメージが膨らむ余韻の残る作品」と評価され



迫力ある絵画など計81点が展示されている県勤労者美術展

た。

写真部門ではジャンプする魚とその影が水面に写る印象的な瞬間を切り取った森田洋子さん(同)の作品「静寂破る大ジャンプ」、

書道部門では木内淳子さん(同)の行書の中に草書を交えて流動感を表現した作品「王嘉謨詩」が、それぞれ

れ知事賞に選ばれた。このほかにも、花や風景、祭りなどモチーフにした絵画、動物や古い町並みを切り取った印象的な写真などが並んでいる。

開催時間は午前10時～午後5時。最終日にはマリオス内で表彰式が行われる。入場無料。